

エピソード57 アゲハチョウ

ある日の昼休み、外に一年生が集まっていました。十人以上いました。聞くと、「アゲハチョウが食べられてる」というのです。カマキリがアゲハチョウを食べています。一人は一生懸命に、2匹を離そうとしています。

他の子に聞くと、アゲハチョウはすでに死んでいるということです。「アゲハチョウ、かわいそう」と涙ぐんでいる子もいます。

このような場面を通じて、命の大切さや、生き物の生命力などを学んでくれるのだと思います。